

自〇〇

(〇〇部二〇〇)

◎高田健さん 談話

▽どうみる総選挙の結果 闘いの展望は(仮見出し)・高田健さん(総がかり行動実行委員会)

+

総選挙の結果、第2次高市早苗内閣が発足しますが、「改憲と戦争準備内閣」だと規定できると思います。「台湾発言」にも見られるように、高市内閣は本格的に戦争準備に取りかかる政権になると思います。

その一つが改憲です。改憲と敵基地攻撃能力の保有、膨大な軍事費増をしゃにむに進めていくことを狙って、総選挙をしかけて圧倒的多数を取ったのだと思います。

今回の総選挙の最大の問題は、何が選挙の争点なのかを有権者に対して明らかにしない

まま、「国論を二分する政策に挑戦するために国民の信任も必要だ」と、白紙委任を要求したということです。

高市さんの党利党略で、通常国会の冒頭で解散し、厳冬期に、戦後最短の選挙期間で強行し、選挙の事務手続きさえ追いつかず、公報も投票整理券も届かない。テレビ討論を突然欠席して政策論戦も回避する。民主主義も何もない本当にひどいやり方でした。

改憲や戦争準備、安保法制については選挙演説で、ほとんど語っていない。それにもかかわらず全部「選挙で信任された」ということにする狙いです。

もう一つは、市民と野党の共闘から立憲民主党を分断することに「成功した」のだと思います。立憲民主党は見事に公明党に吸収されました。この10年の市民と野党の共闘をぶち壊すのに必死に

なったのだと思います
立憲民主党の議員は中
道改革連合に入る以外
の選択肢がない状況に
追い込まれました。

今後、高市政権は、
改憲勢力が衆院で3分
の2になった状況を利
用して、できるだけ短
期間に改憲と戦争準備
を進めてくるでしょう。

だから私たちの方も
本当にかんばって、こ
こで反撃していかない
と大変なことになりま
す。

これまでも改憲の
危機はありましたが、
今回が一番厳しい状況
です。憲法を守ってき
た議員が落選して、国
会で野党の側が改憲反
対の論陣が張りにくく
なるなかで「改憲翼
賛」体制になる恐れが
あります。

こういう状況だとい
うことを多くの市民に
知らせることが大事で
す。街頭宣伝でも署名
でも対話を進めて「憲
法守れ」「戦争する国
絶対反対」の世論をつ

くっていくことが緊急
に必要です。

今回の選挙で改憲や
戦争準備の路線が支持
されたわけではありません。
せん。

改憲に反対する勢力
が一致結束して、学び
合い、励まし合い、行
動していくことが大事
です。みんなができる
行動をやってつながつ
て、改憲や戦争準備に
反対する大波をつくっ
ていきましょう。